

□葉山港津波発生時の避難経路について

葉山港では、津波発生時の行動マニュアルを平成23年12月に設置しました。津波警報または大津波警報が発令された際は利用者を避難場所へ避難誘導を行います。利用者の皆様はスタッフの指示に従い避難をお願いします。

1 避難場所

津波が発生した場合には、葉山町の指定する津波避難場所は「堀内会館」であるが、距離の問題と避難経路が海岸線であることから、鎧摺町内会と協議をし「中央大学葉山寮付近の高台」を葉山港の避難場所として指定する。所要時間は群集歩行速度で約10分とする。

2 避難経路

1の避難場所への避難経路は、(避難場所経路図①)のとおりである。

3 一時避難場所・一時避難経路

津波が迫っており、1の避難場所へ避難する間がない場合や、災害時要援護者等の避難場所への誘導が困難な場合等については、「旗立（はたたて）山」へ一時的な避難誘導を行う。

所要時間は1の「中央大学葉山寮付近の高台」の約10分に対し、約5分になる。
一時避難経路については、(一時避難場所経路図②)のとおりである。

4 一時避難場所から避難場所への避難誘導

一時避難場所は、とりあえず津波の危険から命を守るために場所であるため、一時避難場所へ避難した場合には、津波等の状況を見て、次の経路のとおり、避難場所へ避難することとする。

ただし、避難の際に、津波注意報や津波警報等が解除されるまでは、津波浸水予想区域に近づかない様、利用者への周知を行う。

一時避難場所から避難場所への経路については、(避難場所経路図③)のとおりである。



- ① ◆管理事務所入口を出て突き当たりを
右に曲がる。
- 
- ② ◆すぐ左手に公園があるので、
先の曲がり角を左に曲がる。
- 
- ③ ◆ひとつめの路地を右、次を左、
車道(国道207号線)へ出て右へ。
- 
- 
- ④ ◆一つ目のT字路(角に「中央大学葉山寮」標識あり)を左に
曲がり、なだらかな坂の一本道を上っていく。
- 
- ⑤ ◆左手にマンション(「プリオール葉山の杜」)があり、
マンションの先には中央大学葉山寮があります。
- 
- ※車道では草に注意して下さい。また、ブロック塀が倒れたり、
山肌が見える場所は土砂崩れの恐れがあります。十分ご注意下さい。

一時避難場所経 路図②

◆葉山港管理事務所◆

※津波警報等が発令された際の
避難先になります。



◆管理事務所入口を出て突き当たりを
左に曲がる。



◆そのまま道なりに進み、
鎧鎗葉山港入口の信号を右折。



◆日影茶屋の看板奥の階段
を上ります。



◆階段を上り頂上まで行きますと、
旗立(はたて)山です。



◆頂上からの景色です。

※車道では車に注意して下さい。また、ブロック塀が倒れて来たり、
山肌が見える場所は土砂崩れの恐れがあります。十分ご注意下さい。



◆はたて山の頂上から登って来た道を下り道路まで出る。



◆日陰茶屋の看板が見えたたら、右に曲がる。
50m先の中央大学葉山寮の看板を目指す



◆看板を左に曲がり、なだらかな坂の一本道を上っていく。



◆左手にマンション(「プリオール葉山の杜」)があり、
マンションの先には中央大学葉山寮があります。
※車道では車に注意して下さい。また、ブロック塀が倒れてきたり、
山肌が見える場所は土砂崩れの恐れがあります。十分ご注意下さい。